

平成30年度 子ども版パンフレットの活用状況について

資料2

毎年11月に「子ども版パンフレット」、「条文」を市内小学校6年生全員に、「条例の手引き」をクラスに1冊ずつ配付し、パンフレット等を小学校6年生の3学期社会科公民分野の授業で活用している。

【参考】
自治基本条例推進会議からの報告書「自治基本条例の実効性を確保するための課題について（平成23年2月）」において、「自治基本条例の普及について」の、「若い世代への普及の取り組み」の項目のなかで提言のあった、「小学生の高学年を対象に分かりやすい表現で解説したパンフレット」として、主に小学校の6年生を対象とした「子ども版パンフレット」を作成。

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
1	越ヶ谷小学校	0:30	○	—	国レベルの法律以外でも、市独自の法律（条例）というものがあり、またどんなものがあるのか知ってもらうために教科書や資料集と組み合わせて参照した。	教科書の文章よりも子ども目線に近い形で解説されており、理解を助けることができた。	・条例というものについて初めて知った。 ・条例がどんなもので、どんな内容なのか分かった。	—
2	大沢小学校	0:30	○	—	「わたしたちの生活と政治」の単元において、地方公共団体の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを身近に感じさせた。	自分のことを越谷市民としてとらえさせることができた。	越谷市も市民の声が市の運営に活かされていて、政治に参加していることが分かった。	—
3	新方小学校	0:30	○	—	「市議会の働き」と「市民の願いと政治の働き」について指導する際、パンフレットの「まちづくりへの取り組みや参加」に触れた。	学習内容について、自分のこととしてとらえさせることができた。	越谷市も教科書のお市の事例と同じように、市民の声が反映されたり、政治に参加できることがよくわかった。	—
4	桜井小学校	0:45	○	○	・「越谷市のまちづくりを考える」を課題とし、市の取組や条例の基本原則について確認した。 ・越谷市クイズを作成し、人口・面積や特産品など市についての知識を深めさせた。	・市政に対する関心や参加への意欲が高まった。 ・教科書を通して学習した内容を自分のこととして捉えることができた。	・まちづくりと私達は意外と身近なことに気付いた。知らなかった市の取組が多くあり、今後は積極的に参加してみたい。 ・越谷市のまちづくりには多くの人の協力が欠かせないと思った。私達も市のことを知って、これからの越谷市を守ったり、次の世代に受け継いでいったりしたい。	—

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
5	大袋小学校	2:00	○	○	「子育て支援の願いを実現する政治」の単元で、越谷市はどのように「まちづくり」しているのか、インターネットと合わせて調べ、学習に使用した。	・条例についての興味が高まった。 ・市ごとに違いがあることに気付いていた。 ・条例は遠いものではなく、自分たちも参加して関わっていけるものであるという意識が高まった。	・条例がよりよいまちづくりにつながっていることに気付くことができた。 ・想像以上に越谷市はいろいろな活動をしていることがわかった。 ・まちづくりの主人公という気持ちを持ちたい。	—
6	荻島小学校	0:45	○	○	「私たちの生活と政治」において、子どもたちにとって一番身近な越谷市ではどのようなになっているのかを教科書で扱われている「住民の願いをかなえる政治」とあわせて学習した。「教科書の施設ではこのようになっている」「では、越谷市ではどのようなになっているのか」をパンフレットを活用し、調べさせた。また、「まちづくり」にもルールが必要であることをおさえ、「まちづくり」に必要なルールについても話し合わせた。その後、どんな「まちづくり」に参加したことがあるか意見を出し合い、これから参加したい「まちづくり」についても話し合わせ、よりよい越谷にするために、一人一人が「まちづくり」に参加するための意欲を持たせるよう指導した。最後に、学んだことに対するまとめを行った。	・教科書で扱われている「子育て支援センター」は子どもたちにとって身近なものではなく、自らの生活と密接な関わりがあるとは感じにくい、子ども版パンフレットを使用することで、実際に越谷市の行政の仕組みを知ることができ、より理解が深まったように感じる。また、学習のまとめの際にパンフレットを使用して、教科書と越谷市を比較しながらまとめた児童もいた。さらに、「まちづくり」について話し合うことによって、よりよい越谷市にしていくためには、一人一人が「まちづくり」に参加することが大切であることを理解することができ、自分たちができることを行いたいという意欲を持たせることができた。 ・「住民の願いをかなえる政治」において教科書と越谷市の比較をした際に、越谷市について身近に考えることができた。また、一人一人が「まちづくり」の主人公であることも理解することができた。	—	子ども版パンフレットのおかげで児童は越谷市のまちづくりについて理解することができた。また、パンフレットを活用したことで、「調べたい」という意欲を持たせることもできた。
7	出羽小学校	0:45	○	○	市政で、物事が決まっていく流れの導入場面と終末場面で、どのようなことが何のために決められているのかを、パンフレットを活用し指導した。	市政や条例とは、児童から縁遠い話ではなく、越谷市民である児童にとっても身近な話であるということを理解できた。	・越谷市では、市民のための条例などを決めていることがわかった。 ・このような条例があることを知らなかったが、家族とも話してみたい。	・カラーで大変見やすくコンパクトなパンフレットで児童の深い理解を助けていただいた。
8	蒲生小学校	1:00	○	—	地方自治体の働きを学ぶ際、越谷市でも条例が制定されているということを紹介し、学習への意識づけとした。	インターネットを使って、越谷市のホームページや市議会だより、広報を見るなど興味の幅が広がった。	・身近に感じるすることができた。 ・知らなかったことを知り、自分たちもやっていかなければと思った。	—

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
9	大相模小学校	0:15	○	—	2学期後半の「私たちの願いを実現する政治」で活用した。市議会の働きについて学習した後、パンフレットを読み学習を深めた。	越谷市のパンフレットに触れることで、自分の身の回りの政治ととらえ、興味をもって学習に取り組むことができた。授業で学んだことを活かそうとしていた。	—	時期的に、授業の方が進んでおり、授業後の配付になってしまった。もっと早くパンフレットをいただければ、授業内で活用したり学習計画に取り入れることができたと思う。
10	増林小学校	0:45	○	—	「わたしたちと税金」において、発展学習として扱った。	身近な地名や施設が出てくるため、意欲が向上した。	・イラストがたくさんあってわかりやすかった。 ・生活しやすいまちにするための話し合いが大切なことが理解できた。 ・越谷市内の他の地域のこともわかってよかった。	丁度いいボリュームであるため、これ以上ページは増えない方がいいと思う。
11	川柳小学校	3:00	○	○	・市民の願いがどのように活かされているか、越谷市のまちづくりを確認しながら、深めていった。 ・自分たちでつくりたい（みんなが使いやすい）公園について考えた後で、それを市に要望できることを知らせた。その時にパンフレット等を利用することで“私たち”もまちづくりに参加できることを確認し、学習にのぞませた。 ・1/3時間は「越谷市に公園を」というテーマで人々の願いをもとに計画し提案した。その際にかかる費用など税金で建てられていることを押さえて、政治や税金は、私たちが暮らしやすくなるために生かされることを確認した。他に、教科書の内容をもとに自分の市に合わせて説明し、より実感できるようにした。	・とても見やすいパンフレットだったので理解が深まった。また、越谷市情報を再度知ることができ、進んで見ていた。 ・越谷市には名産（特産品）が少ないと思っていた人が多かったが、有名なものについて知ることができた。越谷市では自分が知らない様々な行事や活動をしていることを知ることができた。自分たちのまち（越谷市）についての取り組みを知った。 ・自分たちにも関わっていることをより実感できた。 ・自主学習として授業内容をまとめてくる児童がいた。	・とてもわかりやすい。 ・自分達にもできそうだった。 ・清掃活動をやってみたいと思った。 ・越谷市のまちづくりについて初めて知ったことがたくさんあった。 ・まちづくりで意見が別れた時、自治基本条例というルールで決められたことに基づいて話し合いをすすめるのがすごいと思った。 ・まちをよりよくするためにもっと知りたいと思った。 ・自分達が住んでいる越谷市では、住民の意見が反映されていることが分かった。 ・法律以外に市でもきまりが決まっていることを知ることができた。	・選択教材だったため、扱っていない方だった。改めて確認できてよかった。 ・送られてきた時には、すでに単元が終わっていたため、調整していただけると助かる。とてもわかりやすい資料だった。
12	南越谷小学校	1:00	○	○	「基本的人権の尊重」や「市役所の働き」などで資料として活用した。	・学習意欲が高まった。 ・視野が広がった。 ・市民、国民としての自覚を持つことができた。	・とてもわかりやすかった。	—

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
13	蒲生第二小学校	2:15	○	○	「市役所の働き」の学習の際に、越谷市の条例や働きの紹介で資料を活用した。	調べ学習の際、ICTを活用して率先して越谷市について調べていた。また、自主学習（家庭学習）で、越谷市について調べてくる児童が増えた。	自治基本条例の条文の内容が難しかったようで、小学生でも理解できる解説書のようなものがあるとうれしい。	—
14	東越谷小学校	0:15	○	○	震災復興の単元の際、他市の取り組みに比較する形で、本市の取り組みを紹介した。	自分の市に対して、意識を向けられたと思う。	—	—
15	大沢北小学校	1:00	○	○	「国の政治のしくみ」の学習で、越谷市の条例と日本国憲法を比較させ、どのような市や国を目指しているのか考えさせる学習を行った。	・越谷市の条例も、憲法の規定に基づいてつくられているということが分かった。 ・越谷市がどのようなまちづくりをしていこうとしているかを理解することができた。	・越谷市がどのような市を目指しているのかが分かった。 ・日本国憲法の規定に基づいて、自分の出身地越谷市も条例を制定していることが分かった。 ・日本国憲法と市の条例は、深く関わっているということがわかった。 ・越谷市のことが少しわかった。 ・越谷市の条例が憲法と関係があることが分かった。	—
16	大袋北小学校	1:30	○	○	「わたしたちの生活と政治」「子育て支援の願いを実現する政治」「震災復興の願いを実現する政治」において、まちづくりの基本的な考え方と方法についての学習に活用した。	越谷市が、まちづくりにどのように取り組んでいるのかわかりやすく学習できた。	「水辺の景観を守る活動」や「子ども大学こしがや」など、越谷独自の活動があることを知った。	文章中の言葉が、よりわかりやすくなると理解も深まると思う。

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
17	蒲生南小学校	0:15	○	—	・社会科の学習で、川口市の条例に合わせて、越谷市にも条例があるということを伝え、全員で内容の確認をした。	・こんなものがあるのかということに、驚いていた。 ・興味をもち、学習を進めていた。	—	—
18	北越谷小学校	0:45	○	—	教科書では堺市をもとにまちづくりについて学習をしていき、条例について学んだ後に、「じゃあ自分がすんでいるまちではどんな条例が定められているだろう？」と問いかけ、パンフレットを活用した。	・自分の住んでいるまちについて書かれているため子どもたちも興味を持って学習に取り組んでいた。 ・図やイラストなども多いため、何を学習しているのかがイメージしやすかった。 ・学習に深まりが出た。	・越谷市にもみんながより住みやすくなるまちにするための工夫や活動がたくさんあったことに驚いた。 ・越谷市の条例をもっと知りたい。	このパンフレットがあったおかげでとても授業が活発に深まりのあるものとなった。
19	大袋東小学校	0:45	○	—	3学期の社会科「わたしのくらしと日本国憲法」の単元において、日本国憲法のもと、市町村ごとに条例が制定されていることを教え、パンフレットp5の「条例に書いてあること」を示し、指導に活かした。	憲法だけでなく、これをもとに市のルールがあることを知ることができ、どのように条例が制定されるのかを具体的に学ぶことができた。	憲法などは、難しい文字ばかりだが、パンフレットは、イラストなどを使用しているので、条例の仕組みが分かりやすかった。	—
20	平方小学校	2:00	○	○	教科書と併用し授業の中でパンフレットを読んで、具体的な内容を参照した。	理解がより深まった。	・わかりやすかった。 ・越谷市のことがよく分かった。	—
21	弥栄小学校	1:00	○	—	パンフレットを配付し、国と同じように自治体にも条例があるということを比べて指導した。	—	国も市も同じように活動していることがわかった。	—

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
22	大間野小学校	1:30	○	○	市役所での取組、憲法の授業の際に具体例として紹介した。	実例を出すことによって実感がわいていた。	—	—
23	宮本小学校	2:15	○	○	「市役所の働き」の学習において、越谷市の場合ということで本市の条例や働きについて資料を活用した。	調べ学習において、ICTを活用し本市について調べていた。パンフレットがあることで、自ら進んで取組む児童が多かったように思う（家庭学習にて取り上げる児童が多かった）。	自治基本条例の内容がやや難しかったように感じた。可能であれば、小学生でも理解できる解説書のようなものがあると、子どもたちの取組み方が違うように感じた。	—
24	西方小学校	1:00	○	○	- 市役所の働き、市議会の役割等を説明する際に図を見せながら説明した。実際に「越谷のよいと思うところ」や「もう少しだと思うところ」をグループで話し合い考えてみた。 - 市議会の仕事を学習する際に、条例の制定や改正も大切な仕事だということを学んだ。そして、条例には多くの種類があること、越谷市には独自の条例があることを知る際に利用させていただいた。 （１）導入：自分たち（市民）が市に望むことを挙げる。 （２）展開①：それらが反映している条例があるか探す。展開②：他にもどんな条例があるか考え、探す。 （３）まとめ：条例とはどんなものがどう作られるかまとめる。	- 小学生でもまちづくりに参加することの大切さを考えることができ、身近に市の働きを感じられたのではと思う。 - 自分たちの市にも条例があり、市民のことを考えられていると実感していた。 - 第１０条４項を読み、子どもでも年齢に応じて市政に参加することができることを知ったことで、よりよいまちづくりをしていきたいと考える子もいた。 - 市民の願いが条例に反映されているということを実感したようだった。 - 条例について分かりやすく解説されていたのでよく分かったようだった。	- 市民がまちづくりに参加することが大切だ。 - 意外に簡単にまちづくりに参加することができる。 - 市民として、不自由な生活ができてるのは、市のために働いたり、市のことを考えたりしてくれている人たちのおかげだ。 - 自分たち（市民）の思いがしっかり反映されていて嬉しい。	指導案があると参考にできるため嬉しい。

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
25	鷺後小学校	0:45	○	—	・全ての学習が終わった後に、児童と一緒に読み進めた。 ・「条例」があることを知らない児童に、P2, 3のページを時間を確保して興味がわくようにした。 ・児童とともに社会の授業の中でパンフレットを読み進めた。越谷市の条例について、意味が理解できるように解説しながら進めた。そして、教科書に書かれている内容を理解させて、比べた。	・「私たちの生活と政治」の単元を振り返りながら、学習した川口市と越谷市を比べ、共通点や相違点を出し合い、改めて越谷の良さやこれからの未来への希望などを話し合い、意見の交流を図った。 ・条例の意味について、理解が曖昧な児童が多かったが、自分たちが暮らす越谷市の条例を具体的に知ることにより、条例と生活の結びつきについて理解を深めることができた。	・自分たちが読んでもわかりやすい、見やすい。 ・小学生の自分たちにもできそうなことがたくさんあることを知った。 ・越谷市の魅力を感じた。 ・絵や図がとても見やすく、児童は楽しそうに学習していた。 ・自分たちが暮らす越谷市についての理解も深まった。	・とても分かりやすくまとめてあって使いやすい。 ・教科書の内容との結びつきがあり、大変使いやすかった。
26	明正小学校	0:45	○	○	授業の流れの中で、関係する箇所で取り上げた。	政治について身近に感じることができた。	—	—
27	千間台小学校	0:45	○	○	・「わたしたちの生活と政治」で活用した。 ・市役所や市議会の働きについて学習した後、越谷市ではどうかパンフレットを用いながら示した。	・他市が取上げられている教科書だけではつかみにくいところが、自分たちのまちのことで具体的に学習できるため、理解が深まった。 ・身近な施設やイベントなども政治とのつながりがあったことを知るきっかけになった。	—	—
28	桜井南小学校	1:30	○	○	・「私たちの生活と政治」の単元で市議会・選挙・条例について学んだ。 ・教科書には載っていない身近な越谷市の条例について学ぶためにパンフレットを活用した。	初めて知ったことが多く、子どもたちは驚いていた。また、今後越谷市の条例が変わっていくかもしれない興味・関心をもって単元の学習に参加する児童が多かった。	・「第〇章」という書かれ方で「憲法」のようだ。 ・みんなが気持ちよく生活できる決まりだ。	資料をいただいた時、ちょうど条例を学ぶ単元だったため、教師として大変助かった。また、身近な越谷市の条例に関するパンフレットだったため、子どもたちの関心も高く、何より、子どもたちの学びを深めるための教材として大変良いと感じた。

No.	小学校名	時間	活用した配付物		活用状況	学習成果	感想	その他
			子ども版	条文				
29	花田小学校	1:30	○	○	・国の取組を紹介しながら、越谷市ではどのようなまちづくりをしているのか確認した。 ・越谷市の取り組みを紹介した。 ・憲法（三原則）との関連で活用した。	・越谷市の条例やまちづくり、特産品などを理解することができた。よりよいまちにするためには自分たちも積極的に参加するという意識を持たせることができた。 ・まちづくりに参加する必要性を理解させることができた。 ・越谷市がどのようなまちづくりをしているのかを理解することによって、自分たちが積極的に関わっていく必要があると実感することができた。 ・教科書では国や他県（他市）の内容しか分からないため、パンフレットを通して自分たちの市について知ることができ、関心を持つことができた。自分たちのこととして身近に考えることができた。	—	—
30	城ノ上小学校	3:00	○	—	・「わたしたちの暮らしと日本国憲法」という単元で活用した。 ・市のまちづくりが、どのような考えのもとに進められているかや憲法の基本的人権の考えは市や国の政治に反映されていることを学ばせた。	市のまちづくりについて興味・関心をもっていた。	市の取り組みが理解できた。	—
		平均	計	計				
		1:09	30件 (30件中)	18件 (30件中)				